

布マスクの作り方 ミシン縫い編

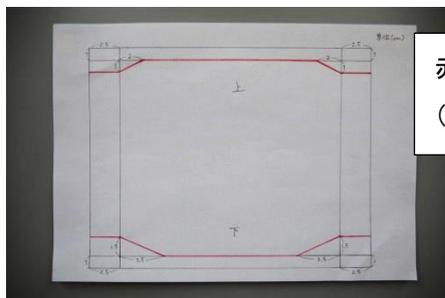
- * マスクの特徴
- ・ひだが3本
 - ・耳に付けるゴム通し部分を短く、ほおにフィットする形
 - ・あごのところを斜めにした形 …小顔に見えるライン

〔材料〕 布 : 綿布 (薄手)、ダブルガーゼなど
糸 : ミシン糸 60番 …ポリエステル糸など、布と同じ色か近い色を使用
ゴム : マスク用ゴム、やわらかい伸縮するテープなど

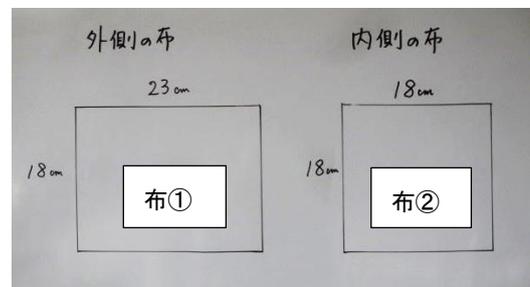
〔準備〕 布の大きさ ①外側の布 たて18cm × よこ23cm
②内側の布 たて18cm × よこ18cm
ゴムの長さ 25cm 2本 (1本30cmくらいまで好みの長さ)

〔作り方〕

1. 型紙を作って形を写す。または直接布のうらに線を引く。→型紙作図は3枚目参照



赤い線がしるし
(形)になる

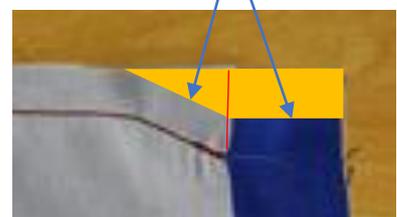


2. 布①と②を 表と表が合うように重ねる。(中表)
左右の端は、耳に付けるゴム通し部分になるので、布①の両側2.5cmが縫いしろになる。
布2枚がずれないように、まち針をうつ。
3. マスクの上下部分をしるし通りに縫う。
ミシンの針目は2.5mmにし、始めと終わりは返し縫いをする。3目くらい↓↑↓重ねて縫うとほどけにくい。
縫い始めは布②の端の「斜め」から、縫い終わりは反対の端「斜め」。
4. 縫いしろは1cmとし(縫い目から1cmを残して)余分なところを切り落とす。表に返すとき、つらないように、切り込みを4か所入れる。
切り込みをいれるのは、布①だけで、布②の端に沿って、たて方向に縫い目の2mm手前まで切る。縫い目まで切らないように気をつけること。

* 切り込むときの、鋏の使い方。 切りたいところまで鋏の刃先をいれる。

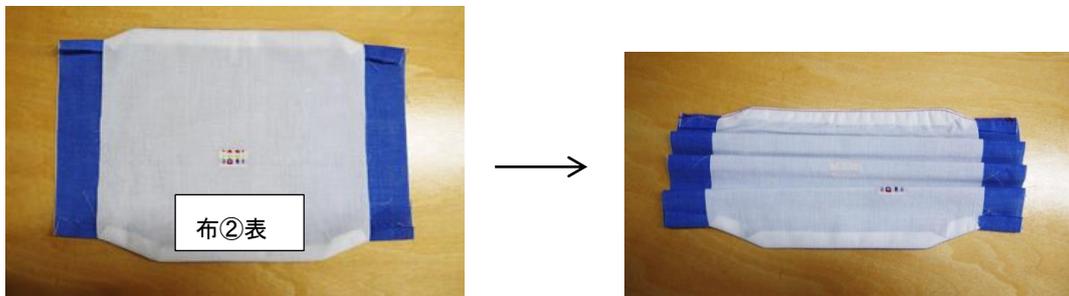


余分な縫いしろをカットする(黄色の部分)
縫い目から1cm残す



5. アイロンを縫い目の上にかけて、折り目をつける。布②を上にして置き、縫いしろを縫い目から内側に折る。直線→ゴム通し縫いしろ→斜め
6. 表に返す。縫いしろは中の方に隠れる。角（かど）の縫いしろを指で押さえたまま表に戻し、アイロンをかけ形を整える。
7. アイロンでひだを折る。ひだは下向きに3本。外側から見て、上から3cmを山折り、その下1cmを谷折り、さらに2.5cmを山折り、その下1cmを谷折り、その下2.5cmを山折り、1cm下を谷折りにする。

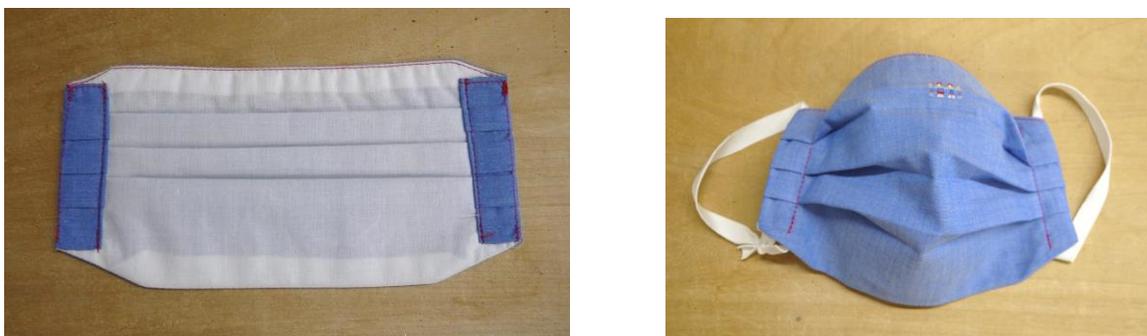
* ひだの位置は紙定規（厚紙の方眼紙を使用）で測ると付けやすい。しるしを書いて折り目をつけてもよい。



〈内側の布②の方から見た図〉 表に戻して形を整え、ひだを折る

8. ひだを縫い留める。ゴム通しの縫いしろの端から0.5cmと2.5cmのところを、布①の表側から縫う。左右それぞれ2本ずつ縫うと、次の折り目がつけやすい。
9. 布①の左右のゴム通しの縫いしろ（端から2.5cm）を、アイロンを使って裏側に折る。布端1cmを内側に折る。（三つ折り）折り端に近いところを縫う。

* ミシンで縫った後に、アイロンをかけるとでき上がりが美しくなる。



マスク内側

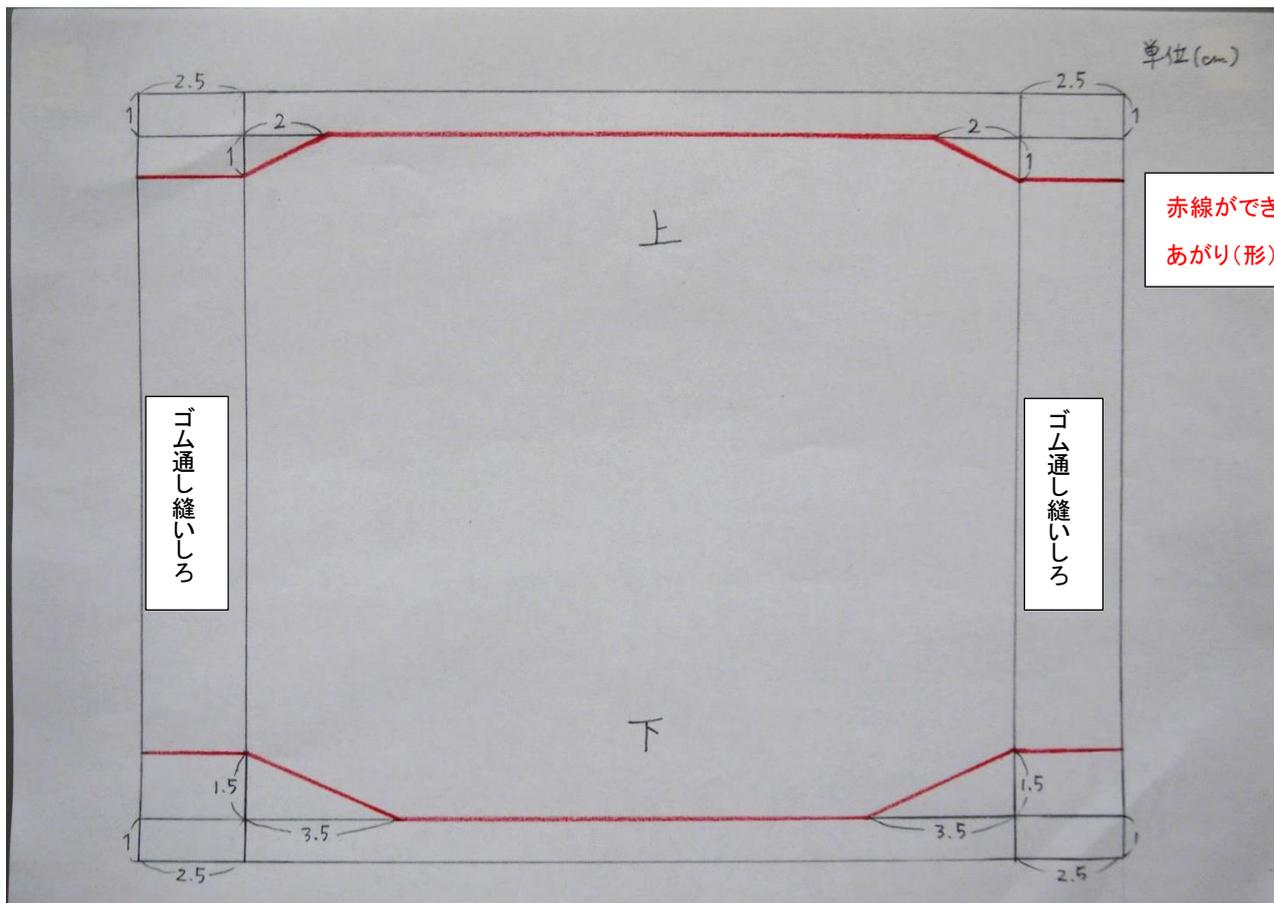
マスク外側

※説明図では、わかりやすくするため、赤い糸を使用した

10. ゴムをゴム通し口から反対側に通し、結びます。結び目を布の中に隠す。左右に通して完成。

〔作図〕

たて 18cm × よこ 23cm → 布①の大きさ 布②の幅（よこ）は両側で 5cm 小さい



ひだ（プリーツ）の構成

外側から見ると、下向きのひだが3本できる

